

クリスマス年末年始はオーシャンクルーズで 忘れられない思い出づくりを

祝祭ムードに包まれながら世界屈指の快適クルーズで
カリブ海、南アメリカ、東アジア、オーストラリアへ



東京 2024 年 7 月 31 日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引する[オーシャンクルーズ](#)が、2024-2025 年と 2025-2026 年のクリスマスから年末年始にかけて実施のクルーズをピックアップ。祝祭ムードにわくわくしながら寄港地を訪れ、船上では楽しさ満載の特別企画と祝宴で高揚感に浸れるクルーズを紹介しています。

40 を超えるお勧めクルーズでは、カリブ海の白い砂のホワイトクリスマス、東アジアでの豪華なハヌカ、南米で迎えるカラフルな大晦日など、世界のどこに行こうと楽しい休暇気分を盛り上げる刺激に満ちた探訪へと導かれます。

オーシャンクルーズの小型豪華客船で行くホリデーシーズンのクルーズには、乗船時のクリスマスキャロル、クリスマスイブとクリスマス当日の華やかなイブニングイベント、シャンパンで乾杯する大晦日と元旦の魅惑的なブランチなど、数々のお祭り企画が満載。ハヌカ期間中には、彫像のようにそびえるメノーラ(ユダヤの燭台)が毎晩の点灯式で輝きを増します。またクルーズ中は弦楽四重奏団によるお祝いの歌が船内のあちらこちらで流れます。



オーシャンクルーズのシンプルモア特典は、すべての顧客が満足できるよう、ランチとディナー時のビンテージシャンパン、プレミアムワイン、各国ビール、1 客室につき上限 1,400 ドルの寄港地観光クレジット(クルーズ期間によって異なります)、すべてのスペシャリティレストランでの食事と Wi-Fi 等、クルーズを心置きなく満喫するために必要なほぼすべてのサービスが含まれています。シンプルモア特典により、超プレミアムなクルーズ体験に究極の価値がさらに上乘せされ、乗客体験がレベルアップされます。

オーシャンクルーズ社長フランク・A・デル・リオ は「休暇を過ごすなら、私共の美しい船上の我が家がまさに最適です。オーシャンクルーズの船上では、自宅でお祝いを準備するストレスから解放されます。華々しいお祭りプランは船任せで、豪華な食事も挙げ膳据え膳のうえ、魅惑的な飲み物も数多く取り揃えられ、という至れり尽くせりのサービスの中で、リラックスして楽しむことができます。伝統的なお祝い料理や新しい人気メニューは、オーシャンクルーズのスペシャリティレストランや豪華なグランドダイニングルームでお楽しみいただけます」と、年末年始クルーズの魅力を語っています。

7 泊のニューイヤークルーズから 30 泊以上のグランドボヤージュまで、顧客の希望するあらゆる日程に対応するクルーズ選択肢が取り揃えられています。ドレーク海峡を渡って南極大陸を目指したり、アフリカ大陸最南端を訪れたり、インドの海岸線をたどったり、カリブ海や仏領ポリネシアの白砂のビーチでくつろいだり、南米のそびえ立つ山々や緑豊かな森に分け入ったり等、オーシャンクルーズの 2024-2025 年、2025-2026 年のホリデーシーズンクルーズは多種多様な個性に彩られています。

2024-2025 年ホリデークルーズのハイライト

Hidden Caribbean Coves: 2024 年 12 月 17 日発

ビスタで行くマイアミ周遊の 10 泊

グアドループとアンティグアではトロピカルな入り江を散策。サンバルテルミーとセントルシアのラグジュアリーな街並でショッピングした後はただリラックスして過ごします。美しいビスタがカリブ海の島々を抜けながら優雅に航跡を描きます。

Beyond the Panama Canal: 2024 年 12 月 23 日発

ノーティカで行くマイアミからロサンゼルスまでの 16 泊

マイアミの光あふれる海を後にラテンアメリカの海岸線を北上するお祭り気分満載のクルーズ。クリスマスイブはバハマで。大晦日はニカラグアで。パナマ運河は日中に通過します。

Radiant New Year: 2024 年 12 月 27 日発

ビスタで行くマイアミ周遊の 7 泊

メキシコ、ベリーズ、ホンジュラスでわくわく感に包まれながら新年を迎えます。豪華なビスタでの南国クルーズは、豊かな野生動物との出会いで花が添えられます。



2024-2025 年グランドホリデークルーズ

Colonial Crowns: 2024 年 12 月 11 日発

リビエラで行くケープタウンからシンガポールまでの 32 泊

東アフリカ沿岸の探検。アフリカとアジアで注目の都市や知られざるっておきの場所にも。クリスマスイブはマダガスカルでご当地ならではのしきたりで迎えます。大晦日はモルディブのビーチでカクテル片手に乾杯。

Antarctic and Patagonian Joy: 2024 年 12 月 21 日発

マリーナで行くリマからブエノスアイレスまでの 24 泊

トロピカルな気分になれるクルーズで気分が盛り上がったところで、南極半島まで足をのばしてホリデー気分は最高潮に。広大な熱帯雨林と畏敬の念にかられるような山々の屹立に圧倒された後に、伝説のドレーク海峡を経て、南米大陸沿岸を巡ります。

Wonders of Australia: 2024 年 12 月 22 日発

レガッタで行くシドニーからパースまでの 20 泊

オーストラリアのサンゴ礁の海へ。ブリスベンでクリスマスを過ごしてから、ダーウィンで年越しを祝います。続く 2025 年新年はバリのビーチでくつろぎ、インドネシアのコモドの街を散策します。

2025-2026 年ホリデークルーズのハイライト

Holiday Havens: 2025 年 12 月 21 日発

アリユータで行くマイアミ周遊 14 泊

アリユータ初のホリデークルーズはカリブ海の島々へ。スチールドラムのキャロルが鳴り響く A-B-C (アルバ、ボネール、キュラソー) 諸島のきらきらした海岸でクリスマスと新年の寿ぎの時を過ごします。大晦日のアンティグア発は夜遅くなるので、陸上での賑わいを体験してから、船上のカウントダウンに。

Pacific and Island Holiday: 2025 年 12 月 20 日発

ピスタで行くロサンゼルスからマイアミまでの 17 泊

ラテンアメリカ沿岸の活気あふれる港をワールドクラスの快適クルーズで訪れながらクリスマスをお過ごしまたとないチャンスです。クリスマスイブはプエルトバジャルタのビーチで日光浴を楽しみながら。正月にはパナマ運河を昼間に通過し、カルタヘナの魅力的な旧市街探索なども。



South Pacific Archipelagos: 2025 年 12 月 10 日発

リビエラで行くシドニーからパペーテまでの 19 泊

フィジーからフランス領ポリネシアまで人気の島々を訪れます。バヌアツのミステリーアイランド、太平洋で唯一残る王国・トンガのヌクアロファといった離れた島々をつなぐクルーズはまさに南太平洋に浸りきれれる旅です。

2025-2026 グランドホリデークルーズ

Spice Route Rendezvous: 2025 年 12 月 20 日発

ノーティカで行くドバイからケープタウンまでの 30 泊

アブダビからゴア、モルディブを経由してタンザニアまでのクルーズは新体験の連続の旅。各地の知られざる年末年始の伝統に触れたり、古くからのしきたりに感嘆したり。元旦はモルディブでのんびりと過ごし、ザンジバルやムンバイではエキゾチックな観光地を巡ります。

Antarctic Triumph: 2025 年 12 月 21 日発

マリーナで行くサンティアゴ・デ・チリからブエノスアイレスまでの 20 泊

チリの壮大なフィヨルドからパタゴニアの多種多様な景観まで、南米の美しさは驚きの連続です。大晦日にドレーク海峡を南下して感動の南極半島に向かいます。フォークランド諸島とプエルトマドリンを経て旅は締めくくられます。

Indian Ocean Opus: 2025 年 12 月 2 日発

シレーナで行くケープタウンからシンガポールまでの 24 泊

最も価値あるホリデーギフトはこんな冒険、といっても過言ではない内容のクルーズ。アフリカの人気港やインド洋に点在する島々を探索し、タイとマレーシアでは珍しい習慣に触れ、クリスマスにはクアラルンプールの活気ある文化に触れて過ごします。

その他のホリデークルーズはこちらから

オーシャニアクルーズの豪華小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。



オーシャンアクルーズについて

オーシャンアクルーズは洋上最高の料理と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員 1,250 名、全 8 隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験で、7 大陸 100 か国以上の 600 を超える主要港から小さな港までを 7 泊から 200 泊余りをかけて巡ります。2027 年と 2028 年または 2029 年[1]の引き渡し予定で 2 隻の船を発注済み。オーシャンアクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は www.nclhltd.com

[1] オーシャンアクルーズ 2 隻目の引渡しは、契約上は 2028 年第 4 四半期に予定されていますが、2029 年に延期される可能性もあります。

画像提供はオーシャンアクルーズ

【発行元】オーシャンアクルーズ PR 株式会社フレア